

令和3年度

決算報告

令和3年度の白老町の決算状況について特集してお知らせします。
※文中の数値は概数で記載しています。

歳入歳出決算は3億900万円の黒字

一般会計

一般会計は、道路の整備や教育、ごみ処理などの身近な生活全般の経費を賄っています。

令和3年度の決算は、歳入130億700万円、歳出126億5300万円となり、ここから令和4年度に繰り越して使用する4500万円を差し引くと3億900万円の黒字決算となりました。

町の貯金である基金残高は前年度比5億1700万円増の28億7200万円となりました。

歳入

国・道支出金増

皆さんから納められた町税は、表1の通りとなっております。

| 税目 | R3年度決算額 |
|-------|------------|
| 個人町民税 | 5億7,013万円 |
| 法人町民税 | 1億3,826万円 |
| 固定資産税 | 15億5,563万円 |
| 軽自動車税 | 3,810万円 |
| 町たばこ税 | 1億6,551万円 |
| 入湯税 | 1,420万円 |

歳出

普通建設事業費

歳入全体は、前年度比4億1400万円の減収となりました。
主な減収要因は、新型コロナウイルス感染症対策特別定額給付金や地方創生臨時交付金等により国庫支出金が11億4400万円減となっております。
一方、主な増収要因は、地方交付税が3億900万円の増となったほか、ふるさと納税などの寄付金が2億1300万円の増となっております。

歳出全体は、前年度比4億3500万円の減少となりました。

新型コロナウイルス感染症対策特別定額給付金事業等の補助費が19億300万円の減となったほか、末広東町通り跨線橋整備事業の終了などによる普通建設費6000万円の減が主な減少要因となっております。

一方、増加要因は、非課税世帯

特別・企業会計

特別会計1億8700万円黒字・企業会計は町立病院が赤字

及び子育て世帯臨時特別給付金事業による扶助費4億6800万円増のほか、ふるさと納税の返礼品に係る費用や、新型コロナウイルススワクチン接種委託料などの物件費が3億5100万円増となっております。

また、一般会計とは別に、国民健康保険や介護保険などの特別会計、上下水道と病院は公営企業会計を設置して運営しています。

特別会計は、一般会計からの繰入金を含め、全体で1億8700万円の黒字となり、6会計すべて黒字もしくは差引収支額はなしとなっております。なお、老人ホーム事業会計は民営化したため、令和3年度末で廃止となりました。

一方、企業会計は、町立病院事業会計で1800万円の赤字が発生しました。